

# 保育士として働いてみませんか

保育士が不足している現状、多くの人に保育士の魅力を知ってもらい保育の現場で働いてほしい！そこで、やりがいや仕事の様子について現役保育士にお話を伺いました。また、保育の仕事に関する支援制度も紹介します。

問 保育・幼児教育課 ☎ 574-6552



## 保育士としてのやりがい

**大岩**：私は今、5歳児を担当しています。3歳児のときから成長を見てきたので、できるようになったことが増えるなど成長を感じるうれしくなります。日々子ども達と接する中で「集中力が増えたなあ」「できることが多くなったな」「泣かなくなつたな」と感じることがあり、小さな変化でも、その姿を見た瞬間に、やりがいや達成感を感じます。

**佐藤(友)**：初めて職場を異動したとき、子どもとお母さんからお手紙をもらいました。「先生のことが大好きだよ」と書いてあり、とてもうれしかったです。悩みや不安も吹き飛び、また新しい職場でも頑張ろうと思えました。

**佐藤(愛)**：自分が担当していた子どもが、保育士を目指してくれて、今一緒に働いています。私も憧れの先生がいて保育士を目指したので、教え子が保育士になってくれたことはすごくうれしかったです。

## 伝えたい、保育士の魅力

**佐藤(愛)**：子どもの成長をそばで見守れることが魅力の一つですが、それ以外に、子どものために何ができるかを日ごろの保育や研修で学び、自分自身を成長させることができるのも魅力だと思います。

**大岩**：困りごとや不安が生じたときは、みんなが相談に乗ってくれます。相談しやすい年の近い先生から園長先生までみんなで支えてくれるので、心配はいりません。

**佐藤(友)**：働き方改革により就労形態を選ぶことができ、働きやすいのが魅力です。フルタイムで働くことや、家庭との両立で悩む人は多いと思いますが、働く時間帯を設定できたり、短時間勤務が導入されたりと、働きやすい環境が整えられています。また、デジタル化も進んでおり、効率的に仕事が進められるようになっています。

**佐藤(愛)**：保育現場ではノンコンタクトタイム(保育士が、こどもたちか

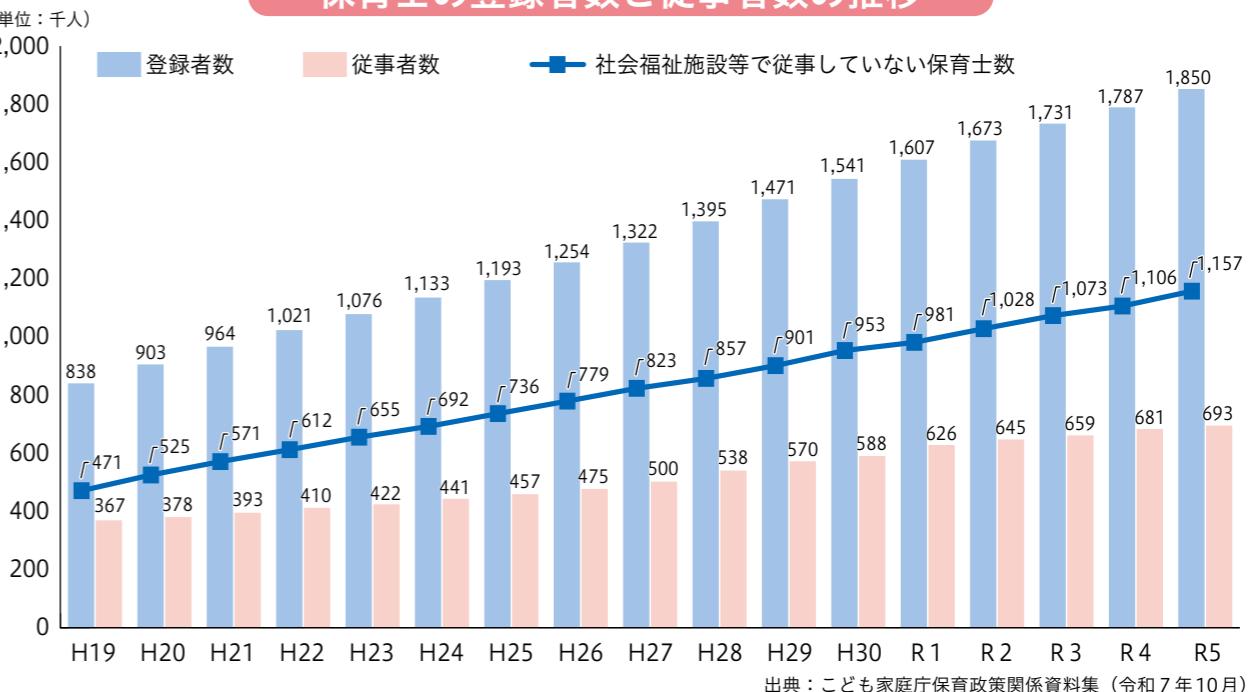
## 保育士を目指す方にメッセージ

**大岩**：困りごとや不安が生じたときは、みんなが相談に乗ってくれます。相談しやすい年の近い先生から園長先生までみんなで支えてくれるので、心配はいりません。

**佐藤(友)**：技術面や不得意なことなどは、働きながら学んでいけます。笑顔と子どもたちに対する愛情があれば、大丈夫です。ぜひ一緒に働いてみませんか。

**佐藤(愛)**：職員と毎日子どものエピソードを話しながら成長を感じたり、次はこんな活動にしようと考えたりしながら、楽しく働いています。男性の保育士も増えてきています。悩まれている方はぜひ一步踏み出してみてください。

## 保育士の登録者数と従事者数の推移



出典：こども家庭庁保育政策関係資料集（令和7年10月）

こども家庭庁によると保育士資格を持つ人は全国で約185万人、従事者数は約69万人であり、残りの約115万人は保育士資格を持ち登録されているが社会福祉施設などで従事していない、という現状です。少子化の影響で児童全体の数は減少していますが、共働き世帯の増加や短時間勤務の普及に伴い、保育需要は依然として高い水準を維持しています。このような状況において、保育を支える「保育士」の確保がますます重要なとなっています。市では、保育士の就労を支援するさまざまな制度を用意しています。

### 保育施設の優先入所

未就学のこどもがいる保育士で、保育施設などに就労する予定がある場合には、優先的に保育施設に入所できるように利用調整します。  
※ただし、施設の受入状況によっては希望に添えない場合があります。

問 子ども入園課 ☎ 537-5794

### 保育士の職場体験講習会

「現場復帰したいけど、ブランクがあって心配」「保育現場がどんなところか見てみたい」そんな保育士資格や子育て支援員資格をお持ちの人を対象に、保育現場の見学・体験ができる講習会を行っています。

問 保育・幼児教育課 ☎ 574-6552

保育士として  
働きたい人を  
サポートします



### 保育のしごとセミナー

指定保育士養成施設などの学生や、保育士資格や子育て支援員資格を持ち保育施設に就労を希望する人を対象にセミナーを開催します。市内の保育施設が多数参加し、施設の特色や魅力について、直接話を聞くことができます。

問 保育・幼児教育課 ☎ 585-6016

### 保育士などのスキルアップ

「大分市保育所等職員研修」において、保育士などのキャリアや職種に応じた研修を受講できます。6年度は、1,851人の保育士などが受講しました。

問 保育・幼児教育課 ☎ 574-6552

